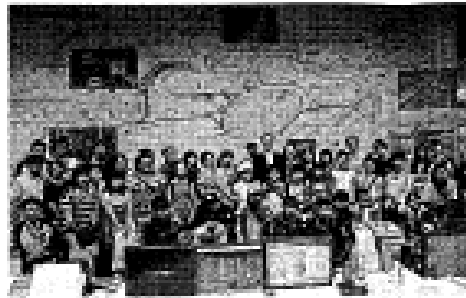


東京1泊2日ツアー開催 被災地の子どもたち招待

首都高速会社



西東京管理局の管制システム前で記念撮影

首都高速道路会社は、東日本大震災で被災した宮城県石巻市の小学生と保護者20組40人を東京に招き、「東京へようこそ1泊2日ツアー」を2012年の日程で実施している。開通50周年記念と

なる首都高子ども支援プログラムとして行われるツアーで、首都高の安全で快適な利用を支える交通管制システムや大規模なシールドトンネル工事現場などを視察。参加し

た子どもたちは、被災地から離れた東京で、夏休みの思い出づくりを楽しんでいる。ツアーは、子どもたちの職業体験などを企画・運営する団体、フューチャ

ライノベーションフォラム(FIF)の協力を得て実現した。新幹線で東京駅に到着した一行は、交通管制システムを備えた西東京管理局、トンネル工事現場と大橋ジャンクション(東京都目黒区)内に設けられた「おおはし里の杜」などを見学。1日に100万台もの交通を管理する首都高速会社の取り組

みを学んだ。21日には、首都高を使った観光として、東京タワー、浅草、東京スカイツリーなどを見て回る予定だ。菅原秀夫社長は、「皆さんは大震災で大変な苦労をされた。ツアーを通じて東京を楽しんでもらい、明日からまた頑張って生活してほしい。全国の人たちが皆さんを応援している」と述べた。

みを学んだ。21日には、首都高を使った観光として、東京タワー、浅草、東京スカイツリーなどを見て回る予定だ。菅原秀夫社長は、「皆さんは大震災で大変な苦労をされた。ツアーを通じて東京を楽しんでもらい、明日からまた頑張って生活してほしい。全国の人たちが皆さんを応援している」と述べた。